

FIA (インドネシア)・古河(天津)精密鋁業有限公司

PT. Furukawa Indal Aluminum and Furukawa-Sky Aluminum (Tianjin) Corp.

1. はじめに

当社は日系自動車メーカーのグローバル化に対応して、アルミニウム押出事業の海外展開を図っています。大手自動車メーカーの世界戦略車の販売が好調なタイおよび豪州地域において、自動車熱交換器用アルミニウム製品の需要が増加しており、さらに世界第3位の自動車生産国になった中国市場における高い成長が見込まれます。当社は1998年にインドネシア、次いで2005年には中国に押出事業の進出を行い、自動車熱交換器用のアルミニウム押出材の供給体制を強化しました。以下にFIA(インドネシア)および古河(天津)精密鋁業有限公司を紹介します。

2. FIA(インドネシア)

2.1 概要

FIA (PT. Furukawa Indal Aluminum)は1998年に合弁によって設立された当社としては初めての海外生産拠点です(古河スカイ(株)55%、インダール社40%、豊田通商(株)5%)。工場はインドネシア第2の都市であるスラバヤ市近郊(ジャワ島東部)に位置し、首都ジャカルタや世界的リゾート地として有名なバリ島にも近いところです。FIAでは小山および滋賀に続く第3の押出工場として、主にカーエアコン用マルチフロー・コンデンサチューブ(略称MFチューブ)の生産を行っています。

ここで製造された製品は東南アジア・豪州・中国など現在10カ国に輸出され、そのほとんどが日系熱交メーカーの海外拠点に納入されます。近年、タイを中心とする自動車生産の急拡大に対応し、お客様の部品現地調達の一翼を担っています。

2.2 FIAの沿革

- 1998年 3月 会社設立
- 1999年 9月 操業開始(#1押出機-2000UST)
- 2002年 11月 ISO9001-2000 認証取得
- 2003年 2月 2期設備投資(#2押出機-2750UST)
- 2005年 10月 ウェアハウス完成
- 2006年 6月 3期設備投資(#3押出機-2750UST)

2.3 製品紹介

FIAでは当社の高度なダイス技術、押出技術および品質管理技術を駆使して、日本国内と変わらぬ品質で各種熱交換器用押出素材をお客様に届けています。

1) 扁平多穴管(図1)

サーペンタイン用コンデンサチューブおよびエバポレータチューブはもとより、超小型精密MFチューブは月産約1千万本を生産しています。

2) 押出成形材

コネクタ、ブラケットおよびタンク材などの多様なニーズに対応しています。

3) 小径引抜管

東南アジア圏で唯一、高品質の引抜管製造が可能で、ホース材などの過酷な加工に適した管材を供給しています。

2.4 トピック

昨今のインドネシアで連想することは、爆弾テロ、地震、津波および鳥インフルエンザなど悪いイメージばかりですが、幸い当地スラバヤは平穏なところといえます。国民性は「常夏の国」らしくとにかく明るくて陽気で

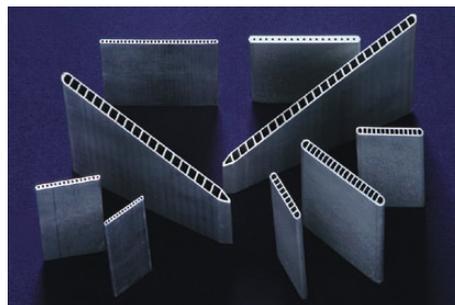


図1 扁平多穴管
Fig.1 Multi-hole flat tube.



図2 MFチューブ検査室
Fig.2 Inspection room for MF tube.



【FIAの会社概要】
 設立：1998年3月
 資本金：600万USドル
 所在地：インドネシア東ジャワ州グレスック市
 敷地面積：25,530 m² (建屋面積 12,160 m²)
 生産能力：約450 t/月
 従業員：約290名(2006年12月現在)



【古河(天津)精密鋁業有限公司の会社概要】
 設立：2005年4月
 資本金：1,000万USドル
 所在地：中華人民共和国 天津市
 敷地面積：34,572 m² (建屋面積 10,184 m²)
 生産能力：約250 t/月
 従業員：約90名



す。そして、女性は勤勉かつ働き者で、根気の必要な検査作業は女性たちが頼りになります(図2)。

毎日「ご安全に！」を合言葉に、「安全第一」および「品質第一」でお客様から信頼される「ものづくり」に励んでいます。

3. 古河(天津)精密鋁業有限公司

3.1 概要

古河(天津)精密鋁業有限公司(Furukawa-Sky Aluminum (Tianjin) Corp.)は古河スカイ(株)100%の出資により、FIA(インドネシア)、FSV(ベトナム鋳物工場、フルカワスカイ・アルミニウム・ベトナム社(Furukawa-Sky Aluminum (Vietnam) Inc.))に次ぐ第3の海外生産拠点として2005年4月に設立されました。工場所在地は中国の天津市にあり、北京の南東120 kmに位置します。天津は北京、上海および重慶とともに中央政府直轄市の1つで、古くから交通の要衝として発展してきた港湾都市です。古河(天津)精密鋁業有限公司はFIAに続く海外における押出工場で、MFコンデンサチューブをはじめ、主として自動車熱交換器用アルミニウム押出材の生産を行っています。

3.2 古河(天津)精密鋁業有限公司の沿革

- 2005年4月 会社設立
- 2007年1月 操業開始(#1押出機-2750UST)

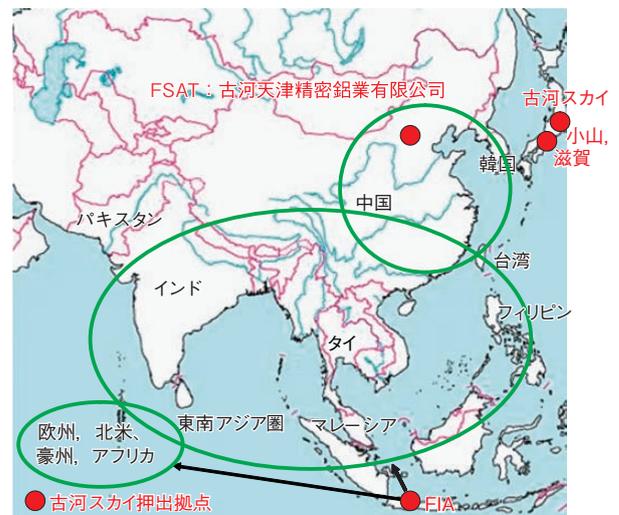


図3 中国、東南アジア供給体制
 Fig.3 Product supply system in China and Southeast Asia.

4. おわりに

当社は自動車熱交換器用のアルミニウム押出材の中国、東南アジア圏の供給体制(図3)を増強しました。古河(天津)精密鋁業有限公司での製造を早期に軌道に乗せ、最適な供給体制に移行していく予定です。日本国内と同様の高度なダイス技術、押出技術および品質管理技術を駆使して、日本国内と変わらぬ品質でお客様へアルミ製品をお届けします。